

2011年3月10日

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社

省エネ支援サービス事業「ECO・POM・PA(エコポンパ)」を今夏より開始

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社(取締役社長:渡邊 修徳/以下、当社)は、環境配慮型生活インフラ事業として、2010年4月の改正省エネ法*1施行により、今後本格的な需要の拡大が見込まれる省エネ支援ASPサービス*2事業に参入します。このサービスを「ECO・POM・PA(以下、「エコポンパ」)」と名づけ、2011年7月より、多店舗・多拠点企業向けに、使用電力量の「見える化」と、省エネを促進するための行動についてのコンサルティングを、ネットを通じてワンストップで提供していきます。

従来の「省エネ支援サービス」は、各拠点の消費電力量や温度、湿度などのデータを自動で計測し、「見える化」するものが中心でした。これらのサービスでは、計測したデータに基づいて省エネを促進する行動に結びつけていくためには、各拠点に勤務する従業員に対して十分な教育が必要となり、導入から省エネの成果に結びつけるには時間や負担が大きくなりがちでした。そこで「エコポンパ」では、データの自動計測はもとより、企業が設定した各拠点の省エネ目標値を踏まえ、計測結果を基に各拠点の従業員に対して「どのような省エネ行動をすべきか」という具体的な省エネ行動の指示を、表示端末にタイムリーに表示(見える化)します。それにより、特別な従業員教育を行わなくても、表示端末の指示に従ってスムーズに省エネ行動ができます。さらに、「エコポンパ」は各拠点での省エネ行動の実践状況や、省エネ行動の実践によりどれだけ省エネに効果があったかについても分析して表示(見える化)しますので、拠点ごとの省エネ行動の促進や省エネ目標値達成に向けた取り組みの徹底につながります。

「エコポンパ」の提供には、①省エネデータの計測センサ、②データ収集用のEMS*3 端末、③省エネ行動の指示の表示や実施確認を受け持つ表示端末、などを設置する必要があります。各種計測センサについては、東電ユークエスト株式会社(代表取締役:月原 優/以下、東電 uQuest)の技術協力を得て、市場で実績のある東電 uQuest 製「EcoQuest」とのコラボレーションによって無線化し、簡単に設置できるようにしました。また、各拠点に設置する表示端末の使い勝手には、当社のコンシューマ向け製品開発を通じて培ってきたユーザインタフェース技術を活かしています。

*1 省エネ法:正式名称は「エネルギーの使用の合理化に関する法律」

*2 ASP サービス: Application Service Provider Service, 業務アプリケーションをインターネット経由で提供するサービス

*3 EMS: Energy Management System, エネルギー管理システム

■事業化の背景

従来、省エネ法は一定規模*4のエネルギーを使用している工場・事業所単位のエネルギー管理義務制度でしたが、2010年4月から施行された改正省エネ法によって、事業者(企業)単位でのエネルギー管理義務制度に変わりました。企業直営店に加え、一定の要件を満たすフランチャイズチェーンについても、チェーン全体が一事業者として捉えられ、新たに規制対象に加わっています。そのため、店舗・オフィス・施設等の規制カバー率*5は約10%から約50%へと一挙に拡大しました。規制対象となる企業では、全事業所で使用している電力量の把握と省エネルギー対策が急務となっており、省エネ支援ASPサービス市場は年率40%の成長(日立調べ)が見込まれています。

当社は環境配慮型生活インフラ事業を基軸とするなか、改正省エネ法により特に対策が急務となる多店舗・多拠点で事業を展開する企業に対して、省エネデータの見える化はもとより、各拠点の省エネ目標値達成に向けて、従業員教育などの手間を最小限に抑えつつ、効率よく省エネ行動を促進する表示や操作などのユーザビリティと、設置費用や工事期間なども短縮した無線化システムによる顧客企業の省エネ支援サービスを提供し、環境関連の事業を強化、拡大していきます。

*4 一定規模：原油換算で年間1,500kl以上使用

*5 カバー率：商業・サービス施設、事業所等における二酸化炭素発生量ベースのカバー率。
2006年度の国立環境研究所のデータより日立推定

■「エコポンパ」に関するホームページ

<http://www.hitachi-ce.co.jp/ecopompa/index.html>

■他社商標、その他商標について

記載されている製品名などは各社の商標または登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社 新事業開発室 [担当:助田(すけだ)、後神(ごこう)]

電話:03-4232-5622(ダイヤルイン)

以上

<添付資料>

■「エコポンパ」の概要

使用電力量の見える化と、省エネを促進するための行動についてのコンサルティングを、ネットを通じてワンストップで提供する省エネ支援ASPサービス「エコポンパ」は、各拠点に設置されたEMS端末とタブレット型表示端末との組合せにより実現します。

EMS端末と表示端末により、各拠点単位で、電力使用状況の計測と分析、具体的な省エネ行動の指示を行い、省エネ行動の促進を図ります。

サーバーとEMS端末の連携により、本社から拠点まで一貫した省エネ目標値管理と省エネ行動実践が行なえます。

これらにより企業での効果的な省エネ活動を支援するサービスを提供していきます。

■「エコポンパ」の基本機能

- ①多拠点での使用電力データ計測と集計、サーバーでの実績管理
- ②全社および多拠点の使用電力データの実績の見える化
- ③省エネ行動の支援(目標値設定から省エネ分析、表示端末による省エネ行動の指示)
- ④報告書作成支援

■「エコポンパ」の特長

1. タブレット型表示端末を使った省エネ行動の指示*1

タブレット型PCベースの表示端末を使って、拠点の消費電力状況をセンサ単位ごとにグラフや表を用いてリアルタイムに表示する事ができます。

システムは消費電力状況を随時分析し、省エネ進捗を予測します。必要に応じてその時点で最適な省エネ行動の指示を表示端末に表示します。

表示される「どのような省エネ行動をすべきか」という具体的な省エネ行動の指示に従い、実行する事により、操作を行う従業員に特に省エネのための教育や知識がなくても省エネ行動が実践できます。

*1 省エネ行動の指示: 指示内容は、拠点にシステムを設置する際に、拠点の施設・環境を確認しながら施設にあわせた省エネ行動内容を選定してシステムに登録します。登録内容は、省エネ実績に応じて随時変更する事ができます。

2. 各拠点での省エネ行動結果の蓄積・分析

各拠点で実行された省エネ行動結果は消費電力状況と同様に、サーバーに記録され、表示(見える化)されます。これにより、本部では、各拠点でどのような省エネ行動を実行し、省エネ目標を達成しているかを分析する事ができます。また、拠点ごとの省エネ行動の促進や、省エネ目標値達成に向けた取り組みの徹底につながります。

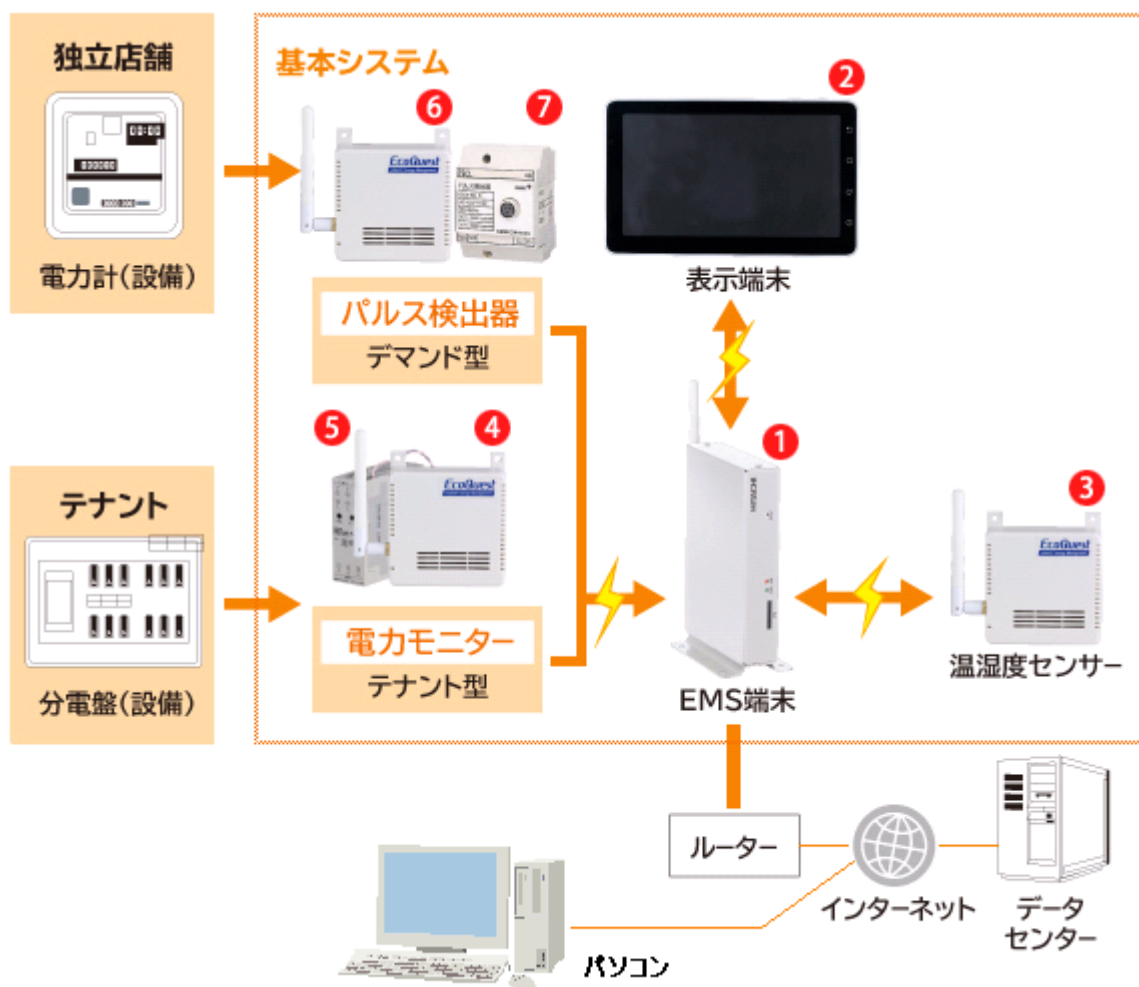
もし、特定の店舗で省エネ行動がうまく実践できない場合には、表示する省エネ行動の指示内容を随時サーバー経由で見直し、変更することができます。

3. 全社での省エネ行動結果の応用

本部にて、全社、各拠点での消費電力実績、省エネ行動結果を確認できます。また、サーバーにおける拠点間の比較機能、ランキング機能を活用する事により、成功事例や問題事例の分析が行なえます。

効果的な省エネ行動を抽出して他の拠点へ展開する事により、企業全体の省エネ効果を上げる事も可能となり、全社での省エネ行動の促進や省エネ指針の改善にも活用できます。

■「エコポンパ」の構成例



●データ計測・表示

- ①EMS端末(EP-BM1000)
- ②表示端末(EP-BT1000)

●温湿度計測

- ③EcoQuest 温湿度センサ(東電uQuest製)

●電力計測

- (1)電力系統別の計測:④EcoQuest RS485子機(東電uQuest製)
⑤電力量センサ(KM-20-B40-FLK) (オムロン株式会社製)
- (2)デマンド監視:⑥EcoQuest パルス子機(東電uQuest製)
⑦パルス検出器(大崎電気工業株式会社製)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
